

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和2年 6月 10日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 兵庫県加東市横谷字石谷798番地36

氏名 積水ハウス株式会社兵庫工場  
工場長 田中康一郎

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0795-47-1771

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	積水ハウス株式会社兵庫工場
事業場の所在地	兵庫県加東市横谷字石谷798番地36
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 <b>別紙1, 2のとおり</b>	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 <b>別紙1, 2のとおり</b>
(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 <b>別紙1, 2のとおり</b>			
①現状	<b>【前年度（令和 年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項 <b>別紙1, 2のとおり</b>	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

**別紙1, 2のとおり**

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

②計画	【目標】	別紙1, 2のとおり	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和元年度)実績量

計画：今年度(令和2年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項										
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)		
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	957.63	951.41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	957.63	951.41	0.021	0.021	957.63	951.41	0	0	0	0
0200汚泥	131.00	131.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	131.00	131.00	131.00	131.00	131.00	131.00	0	0	0	0
0600廃プラスチック類	65.23	65.23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65.23	65.23	65.23	65.23	65.23	65.23	0	0	11.16	11.16
0300廃油	0.10	0.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0	0	0	0
0800木くず	3.90	3.90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.90	3.90	3.90	3.90	3.90	3.90	0	0	0	0
合計	1157.86	1151.64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1157.86	1151.64	200.251	200.251	1157.86	1151.64	0	0	11.16	11.16

別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	2123 コンクリート製品製造業
②事業の規模	製造金額 4,126,665千円（2019年度実績）
③従業員数	238人（2020年4月1日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙4のとおり

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等）

別紙3のとおり

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<p>（これまでに実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生コンクリートを型枠へ流すポンプ投入口の開閉バルブをスイング式からバタフライ式に変更して、生コンクリートの飛散防止を実施</li> <li>・コンクリート打設工程において自動厚み検査装置を設置し、製品厚み精度を上げコンクリート歩留りを向上</li> </ul>
②計画	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移送ホッパーにミストを設置し、待機時に付着したコンクリートの乾燥を軽減し廃棄コンクリートを削減</li> <li>・コンクリートの流動性を自動監視し、ミスバッチを防止する。</li> </ul>

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <p>コンクリートがら、コンクリート廃板、汚泥、廃プラスチック類、木くず、廃油を各工程で分別し保管</p>
②計画	<p>（今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <p>現状を維持して継続する</p>

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 無し
②計画	(今後実施する予定の取組) 無し

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 無し
②計画	(今後実施する予定の取組) 無し

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 無し
②計画	(今後実施する予定の取組) 無し

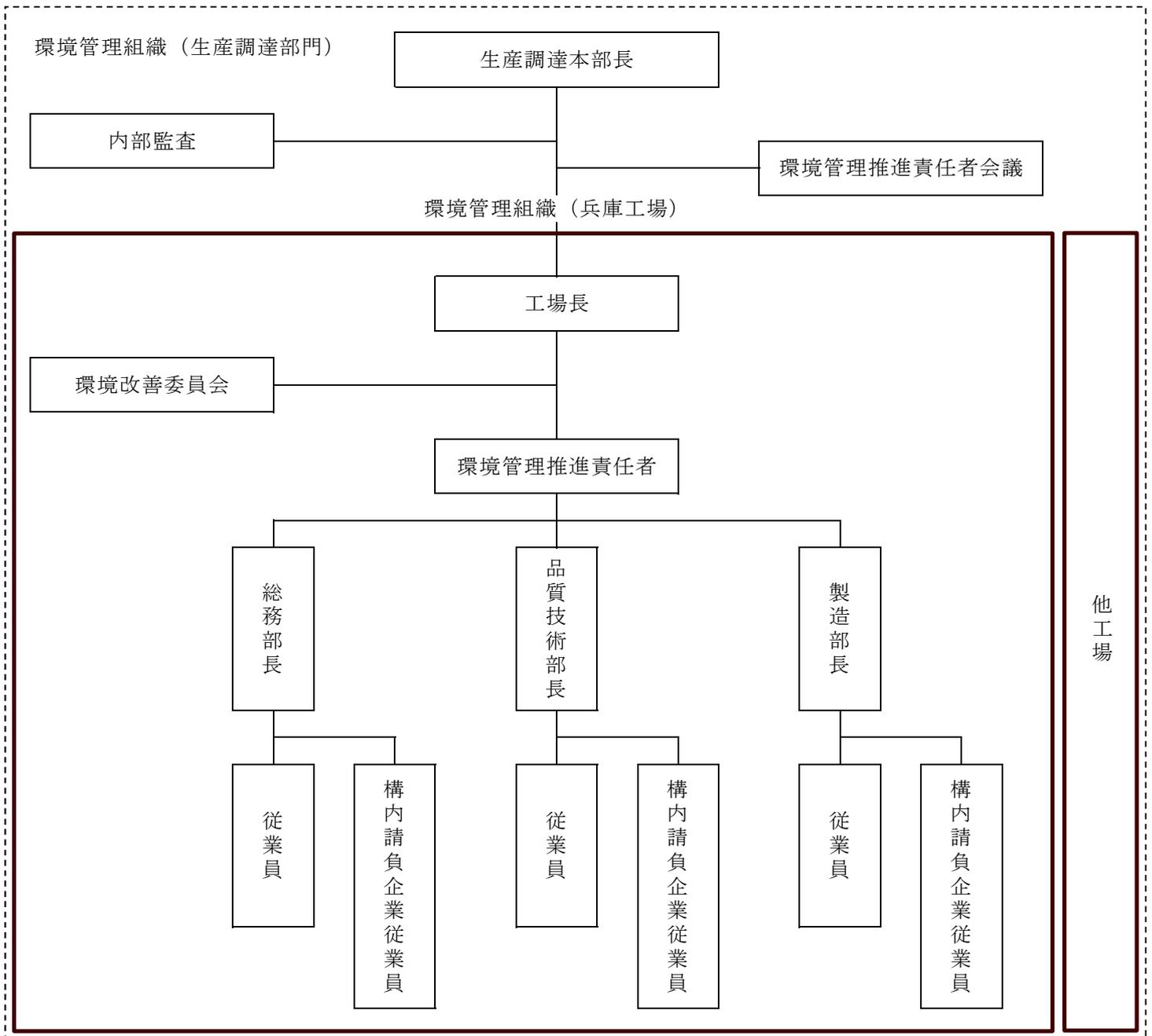
8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・当社規定のマニュアルに従い業者選定をし、契約を締結している。 ・契約を締結している中間処理業者の施設確認を一年に一回実施している。
②計画	(今後実施する予定の取組) 現状を維持して継続する。

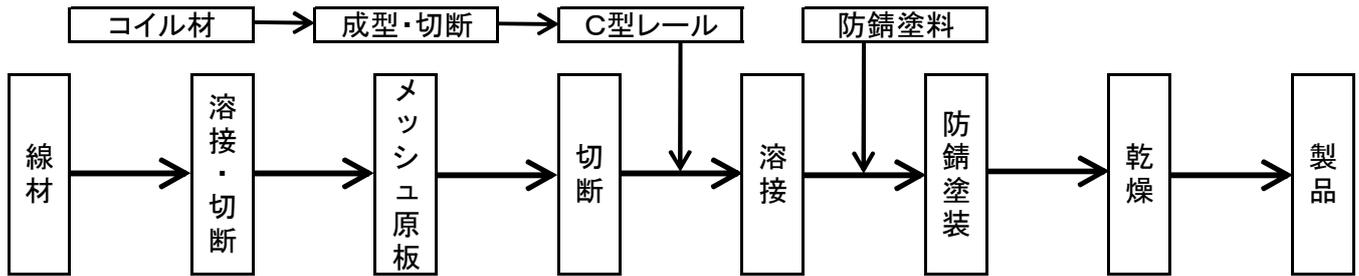
別紙3 (管理体制図)

責任者及び管理組織図

責任者	工場長
環境管理推進責任者	品質技術部 部長
廃棄物責任者	品質技術部
環境改善委員会	<p>環境に関する情報や内容について審議するとともに環境に関する情報を水平展開する事で当工場における環境条件の維持・向上を図る。</p> <p>委員長 工場長 副委員長 環境管理推進責任者 委員 各部署長、エネルギー管理員、環境推進担当者 事務局 品質技術部</p>

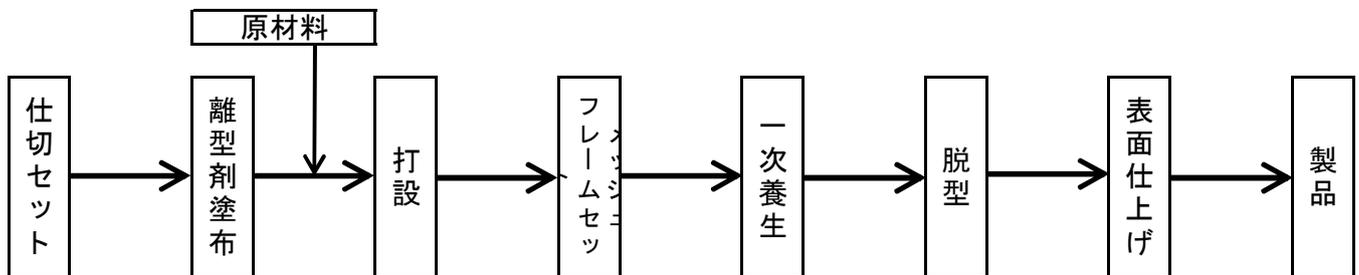


**メッシュ加工工程**



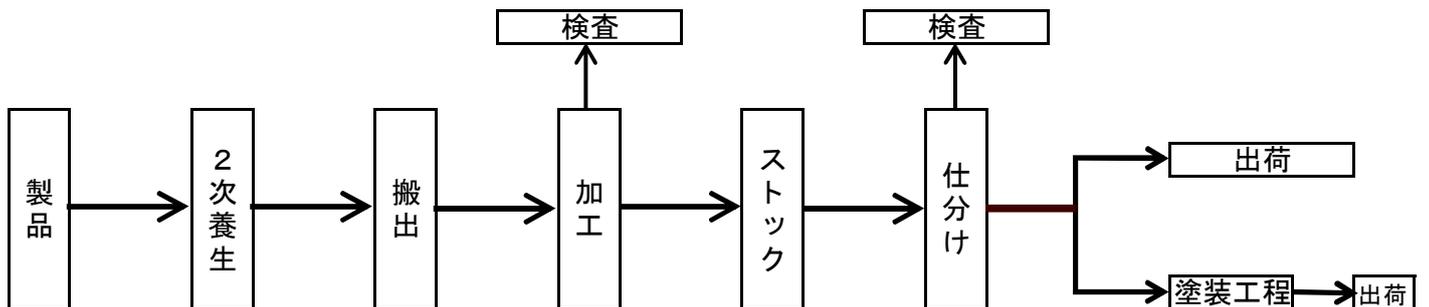
産業廃棄物の種類	収集運搬業者	区分	処分業者	区分	処理方法	最終処分
廃プラスチック	(有)エコリサイクル	委託	田口建材(株)	委託	破碎	セメント燃料・製品化
廃プラスチック	泉興業(株)	委託	ツネインカムテックス(株)	委託	焼却・溶融・発電	管理型
木くず	(有)エコリサイクル	委託	住友大阪セメント(株)	委託	破碎	セメント燃料・製品化
廃油	泉興業(株)	委託	サンワ技研(株)	委託	燃料化	再製油

**打設・脱型工程**



産業廃棄物の種類	収集運搬業者	区分	処分業者	区分	処理方法	最終処分
廃プラスチック	(有)エコリサイクル	委託	田口建材(株)	委託	破碎	セメント燃料・製品化
廃プラスチック	(有)エコリサイクル	委託	住友大阪セメント(株)	委託	破碎	セメント燃料・製品化
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	(有)住野商店	委託	片岡建材建設(株)	委託	破碎	再生路盤材
廃油	泉興業(株)	委託	サンワ技研(株)	委託	燃料化	再製油

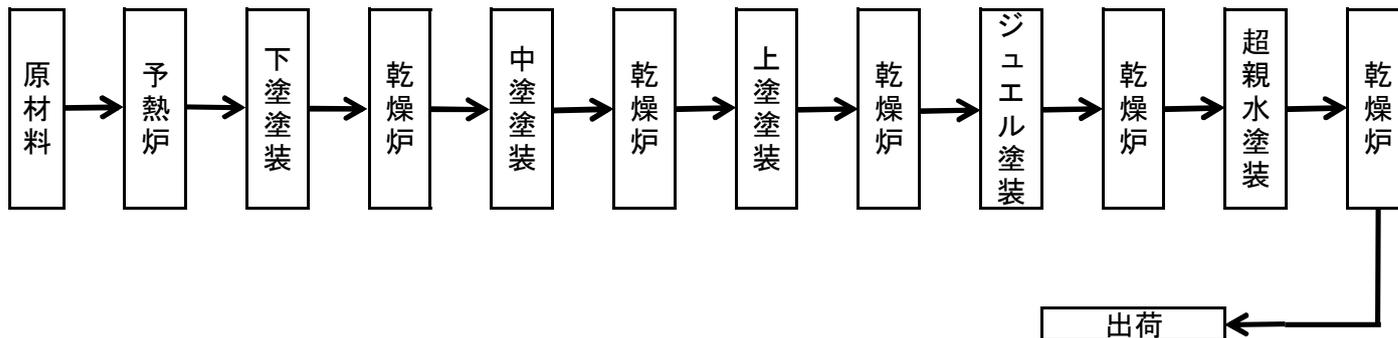
**二次養生・仕分け作業**



産業廃棄物の種類	収集運搬業者	区分	処分業者	区分	処理方法	最終処分
廃プラスチック	(有)エコリサイクル	委託	田口建材(株)	委託	破碎	セメント燃料・製品化
廃プラスチック	(有)エコリサイクル	委託	住友大阪セメント(株)	委託	破碎	セメント燃料・製品化
木くず	(有)エコリサイクル	委託	住友大阪セメント(株)	委託	破碎	セメント燃料・製品化
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	(有)住野商店	委託	片岡建材建設(株)	委託	破碎	再生路盤材
汚泥	泉興業(株)	委託	サンワ技研(株)	委託	混練処理	セメント燃料・製品化

別紙4(産業廃棄物の一連の処理工程)

**塗装工程**



産業廃棄物の種類	収集運搬業者	区分	処分業者	区分	処理方法	最終処分
廃プラスチック	(有)エコリサイクル	委託	田口建材(株)	委託	破碎	セメント燃料・製品化
廃プラスチック	(有)エコリサイクル	委託	住友大阪セメント(株)	委託	破碎	セメント燃料・製品化
木くず	(有)エコリサイクル	委託	住友大阪セメント(株)	委託	破碎	セメント燃料・製品化
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	(有)住野商店	委託	片岡建材建設(株)	委託	破碎	再生路盤材
汚泥	泉興業(株)	委託	(株)ダイセキ	委託	混練処理	セメント燃料・製品化